

ぜんかいニュース

全教海田支部通信

全教広島第65回中央委員会を開催しました。

2月3日(土)、全教広島は今年度2回目となる第65回中央委員会を開催しました。海田支部から、執行部、代議員が参加して、昨年9月以降の運動を総括し、5月に行われる定期大会までの方針を確立しました。

冒頭挨拶した船石副委員長は「今、全教広島は、県内23市町の教育委員会と議会事務局に、教員の長時間労働の解消と教員不足の問題で懇談をして全教の提言を紹介し、率直な意見交換をしているが、いくつかの共感が得られている。今日の教育危機を打開するために、多くの関係者との共同をめざしていきたい」と語りました。討論では11人が参加。各地の取組や実態が交流されて全教広島が希望となっていることを確認することができました。その中でも、総合共済の加入を頑張っている海田支部の取組を書記次長の折出さんが報告しました。



海田支部が「総合共済」加入で大奮闘中

支部長の武本さんは、賃金団体署名を職場訪問で集める際にも、総合共済のチラシ配布を一緒をお願いして回り、安芸郡のすべての職場で総合共済のチラシ配布を完了しました。職場でも、3人に総合共済に加入してもらいました。また、書記の岡田さんはこの間に職場で9人の総合共済の加入を実現しました。東広島の職場にもチラシ配布を継続されています。書記次長で府中中の折出さんも、職場で4人に総合共済の加入を実現されています。海田支部は、今年度、総合共済の加入は20名を越えるかつてない成果を上げています。今後も取組を継続させて、職場で全教を拡げていくことにしています。

全教広島としても、総合共済の純増を実現し、引き続き、共済の前進を目指します。

教育キャラバンが終了しました！

学校現場の深刻な長時間過密労働と教員不足の解消をすすめるための取り組みとして、この2月議会へむけて広島県の全自治体23市町の教育委員会と議会事務局を訪問し、懇談する「教育キャラバン」が始まりました。海田支部は、9市町に支部役員を中心に回ります。この取組は全教が提起している「子どもと教育を考え、語り合う 教育大運動1747(全国の自治体の数)」の一環です。江田島市教委と議会事務局、呉市教委と議会事務局に2月1日には3名が参加しました。懇談では、全教の提言を説明し、市教委の「働き方改革」の取組や教員不足の実態等についても聞き取りをしました。2月8日で4市5町の地教委と議会事務局を回り、どこでもこのままでは学校は持たないという声を聞くことができました。

東広島支区集会が行われました！



1月12日金曜日の夕方から食事をしながら交流しました。学校の様子や日頃の思いを語り合いました。数年ぶりの集まりで懐かしく思いました。

新企画

組合員からのお便りを掲載するコーナーを始めます。

一昨年12月に加入されたスクールカウンセラーです。1年間の思いを綴っていただきました。

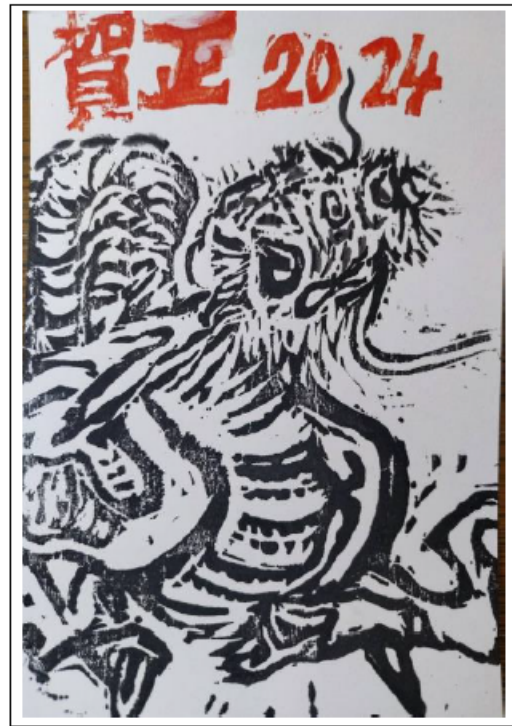
仲間からの通信 NO1.

全教に加入して1年が経ちました。昨年度は本当にいろいろお世話になりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末は版画を作ります。版画で年賀状です。今年は作るまいかと思っていました。でもやっぱり作ることにしました。母の事があったからです。でも作らなければ体が忘れてしまいます。作品として作るならいいのではないかと思いました。母は組合員でした。組合にも熱心でした。その心を少しでも受け継いでいきたいと思います。

(裏へ続く →)

デザインは京都妙心寺の天井画の龍です。旅行が大好きで日本中を飛びまわった母が、京都妙心寺の宿坊に泊まり、妙心寺でもらってきたパンフレットに載っている龍の絵で、ずっと棚のガラスに張り付けていたものです。退職後は旅行と料理が趣味になりました。これをぜひ版画にしたいと思いました。デザインを決めて版に写します。狩野探幽の龍が次第に自分のものになっていきます。体全体を使って彫ります。体全体を使うというのが版画の面白いところで、版と体が一体になった時にいいものができます。彫りは彫り足りないくらいがいいのです。次に版に絵の具を乗せて摺ります。絵と彫りと摺り、すべて一人でやるわけですが、江戸時代の版画師達のすごさがわかります。江戸時代の技を今ここに。絵の具を水糊で溶いて色を作ります。刷毛で版に塗るとき絵の具の粘りや刷毛の動きから絵の具の層の厚さを感じ取ることができます。おそらく0.1mmの差ぐらいから感じるすることができます。あまり厚いと版の小さいところが色が詰まりますし、絵の具の厚さは作品によっても部屋の気温や湿度、絵の具の粘度にもよって違います。また、ばれんで摺る時の圧のかけ方もそれらを考慮して一枚一枚変えています。これでいけるなと思った時にずれたりすれたりするので、一瞬でも気の抜けない作業になります。でも、気負いすぎてもいけない。やはり大切なのは版と体が一体になった時の楽しさです。大事なことは版の上で決める。それがこちらのスタイルです。こうして年賀状は完成します。



組合に入ってよかったなと思う事は 1.活動の場が広がったこと。会議や学習会が面白く、出会いも広がりました。2.仕事柄いろいろな学校に行くのですが、いつも自分は一人じゃないって思えること。これは本当に大きなことで、組合に入っていなかった時にはいつも孤独を感じていました。3つ目も大きいのですが、団体交渉で自分たちの声を届けてもらい、労働条件の改善を交渉してもらえるという事です。自分たちの要求は自分たちが声を上げなければ誰も代わりに声を上げてくれません。教育委員会があるから、人事院があるから何とかしてくれるだろうではありません。現場で働く私たちの声は私たちでないと分からない事があります。また、個人で言っても誰も相手にしてくれません。個人的な文句で終わってしまうのです。組合だから相手にしてくれます。組合員一人一人の要求を集めて交渉してくれるところがうれしいです。一人一人の要求は切実で、また、沢の水のように細くて絶え間ないものです。それをうまく掬い集めて大海のようにして、交渉してくれるのがうれしいです。忍者の秘伝書の名前ではないですが、まさに万川集海といったところでしょうか。誰かが何とかしてくれるだろうではなくて、我慢していることが紳士的な事ではないんです。そうして自分や誰かに我慢を強いていても何も始まりません。人生我慢しなくていいんです。人生は思い

通りにならないことも多いですが、労働条件だけはあきらめなくてもいいんです。そして4つ目は全教の共済、保険がいいんです。総合共済はもとより、お家の共済も自動車共済もみんな全教です。医療共済にも入りました。総合共済はうれしい事や悲しいことがあった時にももらえるのがいいです。悲しい時にももらえると元気が出ます。次はうれしい時にももらいたいです。

2024年も素晴らしい出会いに彩られた一年になりますように…。皆様どうぞよろしくお願い致します。(た)

全教広島役員選挙が始まります

2024年度から2025年度の2年間を任期とする、全教広島の役員を選ぶ選挙が始まります。2月9日に、立候補受付が締め切られました。これから、皆さんのところに、立候補者の一覧表、投票用紙、返送用封筒等が郵送されます。選挙は、規約に基づき実施されます。言うまでもなく、全教広島執行部を選ぶ選挙です。組合員一人一人にとっても大切な選挙です。すべての組合員が投票に参加されるようお願いいたします。今後の日程は、3月1日(金)を原則投票日としており、投票後はすみやかに投函をお願いいたします。3月16日(土)13時が投票〆切となります。直ちに、開票、結果の公示も同日です。現在の郵便配達状況を考慮していただき、早めの返送をお願いいたします。